2026 年 11 月 26 日
エリーパワー株式会社
スズキ株式会社

エリーパワーとスズキ、定置用リチウムイオン電池の開発・量産に向けた「蓄電池に係る供給確保計画」が経済産業省より認定

エリーパワー株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼 CEO：吉田博一、以下「エリーパワー」）とスズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：鈴木俊宏、以下「スズキ」）が共同で申請した、定置用リチウムイオン電池のセル・モジュールの開発・量産に関する計画が、経済安全保障推進法に基づく「蓄電池に係る供給確保計画」として経済産業省より認定されました。

両社は 2012 年のスズキの出資以降、技術交流を図ってきました。2023 年 11 月には追加出資・業務提携契約を締結し、蓄電システムにも多様なモビリティにも搭載可能なリチウムイオン電池の共同開発に合意しました。

本計画で認定を受けた定置用蓄電池は、車載用にも共用できる設計とし、エリーパワーのリン酸鉄リチウムイオン（LFP）電池に関する技術・知見と、スズキの小型車開発・生産技術を活かして開発します。高い安全性に加え、定置用に求められる長期の充放電への耐久性と、車載用に求められる高いエネルギー密度を両立します。また、静岡県湖西市に国内製造基盤を整備し、2029 年 10 月の生産開始を計画しています。生産した電池は、2030 年度以降に、住宅用・業務／産業用・車載用の各分野で順次採用を目指します。

本電池は、車載用として使用した後も、定置用として再利用する「リパーパス※」を設計段階から織り込み、ライフサイクル全体で電池を活用する仕組みを構築します。これにより、電池循環社会への貢献と将来的なバッテリーEV（BEV）保有コストの低減を図り、BEV の普及につなげてまいります。

スズキは、様々なお客様や車種のニーズに応じた電動車を提供するため、複数の電池メーカーと連携し、電池の調達、開発および生産基盤の構築に取り組んでいます。定置用と車載用の双方に活用できる蓄電池の開発にも取り組み、「生活に密着したインフラモビリティ」の実現を目指します。エリーパワーは、創業当初より定置用途とモビリティ用途の双方で活用可能な蓄電池の実現を目指し、高い安全性と長寿命を備えた蓄電技術を追求してきました。両社は本計画を通じて、蓄電池の国内製造基盤を確立するとともに、サプライチェーンの強靱化を進め、定置用蓄電池および BEV の普及拡大を通じて、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

※リパーパスとは、製品における使用(一次利用)を終えたものを、目的を転じて別の製品に組込んで再度活用することを指します。

供給確保計画の概要

1. 認定の日付
令和 8 年 11 月 26 日

2. 供給確保計画の認定番号
2026 蓄電池第 1 号－1

3. 供給確保事業者の名称等
○ スズキ株式会社
○ エリーパワー株式会社

4. 認定供給確保計画の概要
○ 安定供給確保を図ろうとする特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目
定置用蓄電池

○ 取組において支援措置の対象とする取組の内容
・取組の種類：生産基盤の整備、生産技術の導入・開発・改良
・供給開始：2029 年 10 月
・生産能力：0.48GWh/年

○ 取組を実施するために必要な資金の額：約 447 億円（最大助成額：約 187 億円）

○ 希望する支援措置
助成金交付

※詳細は経済産業省ホームページをご覧ください。
https://www.meti.go.jp/policy/economy/economic_security/battery/index.html

以上